

## 河川基金助成事業

「20周年企画「防災教育モデル校」設立と球磨川  
かわあそび『八の字堰フェスタ』  
開催」

助成番号：2020 - 6111 - 002

次世代のためにがんばる会  
代表者 松浦ゆかり

2020 年度

## 河川基金助成事業

「20周年企画「防災教育モデル校」設立  
と球磨川かわあそび  
『八の字堰フェスタ』開催」

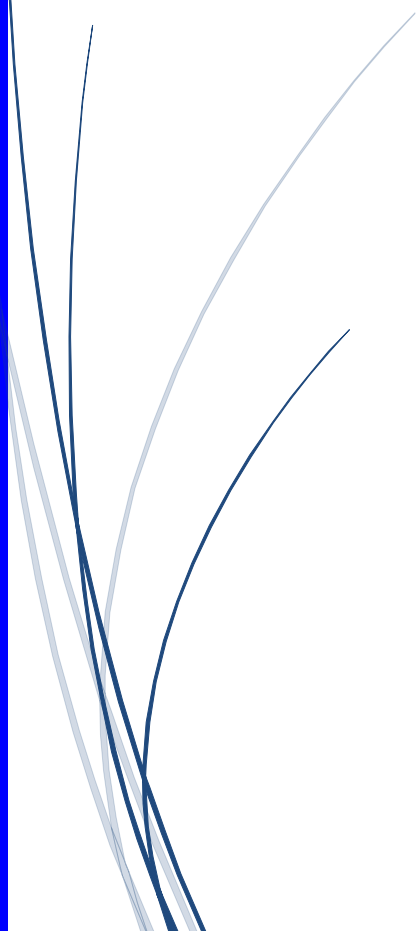
2020 年度

助成番号 2020-6111-002

河川協力団体

次世代のためにがんばる会

代表 松浦ゆかり



## 《 目 次 》

1.	【概 要】〔事業・活動計画の妥当性〕〔当初目標、達成度〕 〔事業・活動の効果〕〔河川管理者等との連携状況〕	2
2.	当会設立 20 周年企画	
①	第 16 回八代海河川・浜辺の大そうじ大会（活動 4）	3
1.1	活動の目的	
1.1.1	当日記録内容	
②	親子田んぼの生き物調査・学習会 <b>予定変更企画</b>	4
2.1	活動の目的	
2.1.1	当日記録内容	
③	「青少年水サミット 2020 in 八代」オンライン開催（活動 5） <b>予定変更企画</b>	5
3.1	活動の目的	
3.1.1	当日記録内容	
④	「青少年水サミット 2020 in 八代」フォローアップ講演会（活動 6） <b>予定変更企画</b>	7
	第 1 回 図書館講演会	
	第 2 回 図書館講演会	
4.1	活動の目的	
4.1.1	当日記録内容（第 1 回目講演会）	
4.1.2	当日記録内容（第 2 回目講演会）	

尚、申請に計画していた下記の内容は「新型コロナウイルス感染防止」と「令和 2 年豪雨災害」

のため、**中止・変更**となった。

1) 防災モデル校企画は全て**中止**

2) 河川研修：青少年向け研修は**中止**。PTA 親子向け企画は**親子向け田んぼの生き物調査に変更**

3) 20 周年企画：**上記フォローアップ講演会に変更**

くま川八の字フェスタ：流域団体と九州河川協力団体共同企画（2 日間）は**中止**

八の字堰（川遊び）を『青少年環境ボランティア認定者』と開催は**中止**

## 助成事業名 「20周年企画「防災教育モデル校」設立と球磨川かわあそび『八の字堰フェスタ』開催」報告書

### 【概要】

人々が川と安全に触れ合う環境を作るためには、川に関連した正しく広範な知識・情報が不可欠であり、更に、子ども達が川に親しみを持つためには教育関係者の理解が必要である。そこで、官・民・学の共同体制で地域の小学校に、河川の情報提供、必要な備品の整備・貸出、子どもの水辺への安全・防災・水生生物や水質調査等の出前講座を行い、この実施体制について教育委員会の理解を求める。この活動を重ねることで、小学校河川教育モデル校を目指しつつ、将来に渡る河川の賑わいを地域に広げていく。

### 【事業・活動計画の妥当性】

- 令和2年豪雨災害で他人事として考えていた市民には、真摯に考える項目でもある球磨川流域の情報を盛り込み、教科書に沿った水防災ソフト教材と模型を作成し、宮地小学校で実施した。
- 今後は市内多数の学校はもちろん、球磨川流域で実施しながら、自然災害に関する「心構え」と「知識」を備えた個人を育成することに効果があると考え。これにより、子どもから家庭さらには地域へと防災知識等が浸透していくことが期待できる。

### 【当初目標、達成度】

今年度は、未曾有の大災害を起こした球磨川の災害状況下に加え、新型コロナウイルス感染予防のために、20周年企画の半分以上が中止・企画変更となってしまった。自然災害から命を守るためには、一人一人は災害時において適切な避難行動をとる能力を養うために、今年度は現場での学習会や、災害の模様を踏まえた授業をしたことで、大雨の場合に決壊する対応策に堤防や排水機場の存在を知り、防災に対し自助、共助が必須であることを認識でき、防災教育授業の意義があると感じた。また「青少年水サミット2020 in八代」も新型コロナウイルスに対応したオンラインでの開催は、先端をいく内容であり、参加した高校担当教諭からも評判が良かった。アンケート結果を見ても身近な環境問題において、すべての生活環境が備わっていないことと、「水」に関しても、全部門が関連していることだと理解してくれたことは大成功したと考える。

### 【事業・活動の効果】

参加者に対して事前事後のアンケートをとって環境水問題から繋がる様々な認識の変化を検証できた。河川・浜辺の大そうじ大会にしても周知1週間で600人の青少年が参加する意識の高さを感じ、その相乗効果で、青少年水サミット2020in八代への参加があり、年々当会の企画イベントへの意識・参加も増加傾向にある。このことは市民への大きな啓発にもなると確信する。

### 【河川管理者等との連携状況】

当会は、管理者である国土交通省八代河川国道事務所との連携のもと、八代河川国道事務所が令和2年豪雨災害ソフト教材で話し、当会は流水模型教材を使用した授業を実施した。実施に当たっては、八代河川国道事務所と、現場の状況判断、プログラムの綿密な打ち合わせを何度も行った。今後は球磨川流域の小学校で防災・河川教育の教材、学習プログラムに取り組むことを国土交通省八代河川事務所と企画していることは、本年度の活動は妥当であると考え。また、青少年水サミット2020 in八代では講演会の講師も3人依頼し、球磨川災害現状や防災についてまた八の字堰の再建の歴史をご講演いただき、高校生や市民にもとても好評で、次年度勉強会の計画もでき、Win Winの成果となった。

- 令和元年活動：18回参加者総人数846人（当会主催他の河川活動参加動員数合計 約2,000人）  
他に「くま川ごみゼロポスターコンクール（・表彰式・展示会）や「水の循環」出前授業・青少年サミットフォローアップ&球磨川防災フェスタ等も行った。以下詳細をご覧ください。

## 【実施内容】

### 活動 1) 第 16 回八代海河川・浜辺の大そうじ大会

日 時：7月23日（木）海の日 13:00～16:00

場 所：八代市金剛球磨川河口近辺

参加者：八代市内7つの高校から高校生600人・大学生、教授、企業、団体、行政50人

総合計約650人

### 【活動詳細】

\*内容：令和2年豪雨災害（球磨川水害）による大量のごみ拾いを兼ねて毎年のごみ拾いの開催を案内した。

- ・新型コロナの影響を受け、3密にならないようにチラシ配布だけの応募だったが、高校生の予想を上回る参加にごみ袋・軍手が足りなかった。しかし、大量のごみが処理できた。
- ・KAB 依頼による「くまモンお助け隊：TOYOTA 職員によるボランティア活動」の大人の参加により、高校生への指揮のもと、大量の災害ごみ（約4トン）がほぼ回収できたことに評価が高かった。

### 【事業・活動の効果】

今後の行動への意識向上は若干弱いものの、ごみ問題への意識はかなり大きく、そして確実に向上していると考えられる。球磨川災害による被災地から流れ着く大量のごみを目の当たりにした高校生の参加が多く、災害の様態を踏まえた体験授業として素晴らしい行動だと感じた。参加者は今後、「ごみを拾うことで、ごみを捨てない人づくり」で、必ず不法投棄はしないであろう。今後も、実際に野外で干潟や生物観察を行い、河川や浜辺でごみを拾い・調べ、分別する体験型教育を行うことで、干潟生物多様性の重要性や「ゴミと環境」への意識を高める。この活動への参加によって、子どもはもちろん親世代の自然環境に関する理解・関心も深化し、地域住民の世代を越えた人間関係も再活性化されると期待する。



市内の全高校から有志高校生らの参加者650人





令和2年豪雨の災害ごみが大量に回収された

## 活動2) 親子田んぼの生きもの調査・学習会

2-1

\*期日：令和2年8月29日（土）13:00～15:30 \*場所：金剛の稲本氏の田んぼ

\*参加者：市内の小学生とその保護者・高校生 合計15人

\*内容：①生きものの学習（屋内） ②生きもの調査（リーダー指導（屋外）③振り返り学習会（屋内）

### 【活動詳細】

完全無農薬の田んぼを借り、季節の変化でいきものの違いがあり、自然界の多様性と水の価値を知ることが目的として開催。講師は船橋玲二（NPO法人田んぼ理事長）で、PCR検査を行って八代にきて指導を依頼した。



2-2

\*期日：令和2年11月29日（土）9:00～11:30 \*場所：金剛の稲本氏の田んぼ

\*参加者：市内の小学生とその保護者・高校生 合計28人

\*内容：①生きものの学習（屋内） ②生きもの調査（リーダー指導（屋外）③振り返り学習会（屋内）

### 【活動詳細】

完全無農薬の田んぼを借り、季節の変化でいきものの違いがあり、自然界の多様性と水の価値を知ることが目的として開催。講師は船橋玲二（NPO法人田んぼ理事長）と古谷愛子（NPO法人オリザネット事務局長）で、PCR検査を行って八代にお越し願った。参加者親子参加10人高校生8人が小学生10人に指導を行った。



### 【事業・活動の効果】

- ・教育関係では防災企画の中止を余儀なくされたため、COBIT19の完備をし、親子田んぼのいきもの調査に変更し、身近な自然環境の変化を知るために季節を変えて体験させることができた。
- ・普段気にしない田んぼの生きもの、植物に関心が持て、生態系にはすべてのいきものが必要なことと、季節でもその違いがあることを知った参加者は、年間を通じて季節折々のいきものを調査したいと感想を述べてくれた。

### 活動3)「青少年水サミット 2020 in八代」リモート開催

#### イベント：事前練習（オンラインクイズ大会）2回開催

＊期日：令和2年10月14日（水）19:00～20:30  
10月・29日（木）19:30～20:30

＊場所：各自宅・学校

＊参加者：講師・高校担当教諭・スタッフ 参加者合計35人

＊内容：・新型コロナ禍で余儀なくされ、オンラインでの初企画、不安材料の多いインターネットの企画になるまで、何度もZOOM会議を重ね、参加高校には、「高校生クイズ大会」で練習会を2度も行い、関係者にはご理解をいただき企画を進めることができた。

#### 青少年水サミット八代 2020 in八代

＊期日：令和2年月11日7日（土）13:00～15:00

＊場所：八代市立宮地コミュニティーセンター（拠点）・各高校・個人宅

＊参加者：市内の高校生122人・一般大人・オンライン参加の大人約50人 合計208人

＊内容：メイン参加者である市内の高校生に呼び掛け、オンラインによる講演会と討論会を開催。参加者が予想以上に多く、また、日本各地から専門家の参加があり、高校生の討論会も盛り上がった。



## 【活動詳細】

新型コロナ禍で余儀なくされた、オンラインでのサミットだったが、初企画、不安材料の多いインターネットの企画になるまで、会場やらやり方の変更が何度もなっており、やはり、顔を見ながら会議打合せができないことが一番の苦労だった。しかし、何度も ZOOM 会議を重ね、参加高校には、「高校生クイズ大会」で練習会を2度も行い、関係者には大変ご迷惑お手数をおかけしたが、とても意義深いものだった。

本番、拠点宮地会場は4つの部屋で視聴出来るようにしたが、本番までは準備万端のはずが、本番が始めるとネット関係で音声の乱れや発表スライドが固まるなど、スタッフは思った以上に ZOOM ホスト業が大変でバタついたが、熊本大学の先生方3人に裏でサポートいただき無事できた。今後に向けての反省点もあった。

しかし、多くの地域の高校生・演者が参加して議論できるなど、ZOOM の利点が生かせずばらしい講演会だった。しかし、リモート参加者はもちろん、一般参加者は「まだ聞きたい」「初めて ZOOM やらしてみた」とアンケート集計（別資料）から見ると大変好評だった。サミット翌日から約3週間、八代図書館で講師陣の資料パネルの展示会と、展示初日と最終日には、講師6人による講演会（オンライン同時配信有）も実施したが、市民には好評だった。

青少年水サミット 2020 in 八代イベント  
「水に関わる土木の秘密」  
青少年クイズ大会

開催日時：令和2年10月14日（水） 19:00~20:00  
開催場所：Zoomによるオンライン開催

※インターネット環境があれば自宅からでも参加できます。  
※申込費に会場となるZoomのURLを後日送付します。  
※PCからの参加の場合は、カメラとマイクがついているかご確認ください。

開催内容：全一ディベート形式の対戦  
第1部 長崎大学准教授 山本孝氏（水の土木と環境）とアスリートマツの対戦  
第2部 オンライン青少年水サミットガイダンス「よらこぞ」青少年水サミットへ（30分）  
田中尚人氏（熊本大学）・松本聡吾氏（水の土木と環境）とアスリートマツの対戦

総合司会：内田 康亮（次世代のためにがんばる会）  
申込先：青少年水サミット in 八代 2020 実行委員会事務局：kankyo@eco-yukarin.info

The Earth is a Planet of Water  
青少年水サミット2020 in 八代  
オンライン開催!!

日時：11月7日（土）13:00~15:00

お申し込み先Eメールアドレス（締切/10月31日）  
kankyo@eco-yukarin.info（担当：松本）  
申し込みの際は必ず、お申し込みの人数、お名前、お住所、お電話番号、お申し込みのグループ名をお知らせください。

インターネット環境があれば自宅でも、ご家庭や学校、地域から気軽に参加できます。（参加無料）  
※オンライン参加はZoomです。  
※申し込み先には、11月7日までにEメール、URL、パスワードをお送りします。

【第1部】専門家によるパネルディスカッション  
●水の電線グループ「干ばつ・水質浄化について」  
●水と生きものグループ「干ばつ・水質浄化について」  
●水防災グループ「水防災・防災について」  
●水の歴史グループ「八代の土木治水の歴史と日本遺産」

【第2部】青少年による「水」についてのディスカッション

主催/青少年水サミット2020 in 八代 実行委員会  
（次世代のためにがんばる会）  
共催/熊本大学 くまもと水環境 環境研究センター  
後援/国土交通省 八代河川国庫管理センター  
八代市 八代市教育委員会  
賛成/八代市河川局 八代市環境局  
公益財団法人河川財団  
公益財団法人水環境一歩の会（水研）  
実行委員会/E-mail:kankyo@eco-yukarin.info  
TEL:090-5263-5081（事務局）

青少年水サミット八代 2020 in 八代 クイズ大会チラシ・本番チラシとポスター



# 青少年水サミット 2020 in 八代

- 1P ・「青少年水サミット2020 in 八代」 =水と未来を考える！ =
- 2P ・目次
- 3P ・「青少年水サミット2020in八代」オンライン開催の挨拶
- 4P ・「青少年水サミット2020 in 八代」の開催に寄せて

## 【第1部】 専門家によるパネルディスカッション

### ■水の流れグループ「ごみ・水質問題」

- 6P ・熊本のプラごみ・マイクロプラスチック問題
- 7P ・水の行方／青年会議所と水の関わり
- 8P ・焼酎粕で培養する光合成細菌の土壌・水質への効果
- 9P ・幅広い世代で考えるゴミ問題について
- 10P ・八代市の地下水
- 11P ・カニの胃袋から海洋プラスチックゴミの問題を考える

### ■水と生きものグループ「干潟・水質浄化について」

- 12P ・ようこそ球磨川河口へ
- 13P ・熊本県内4河川の水質と生きもの
- 14P ・球磨川河口干潟は野鳥の宝庫です
- 15P ・ラムサール条約登録湿地荒尾干潟
- 16P ・水産廃棄物「カキ殻」による河川浄化の取り組み
- 17P ・荒尾干潟での岱志高校生の活動

### ■水防災グループ「水防災について」

- 18P ・球磨川下流域の景観デザイン
- 19P ・球磨川における河川管理・防災の取組について
- 20P ・自然と生きる
- 21P ・生態系を活用した防災・減災(Eco-DRR)
- 22P ・ハザードマップ／マイタイムライン

### ■水の歴史グループ「八代の土木治水の歴史と日本遺産」

- 23P ・球磨川下流の土木治水史
- 24P ・八代のまちをつくった土木技術
- 25P ・土木の神様：清正公さん、用水の神様：遥拝さん
- 26P ・土木の神様：清正公さん、用水の神様：遥拝さん
- 27P ・講師プロフィール

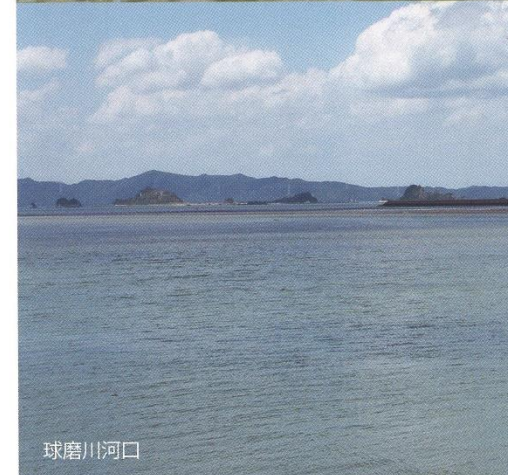
## 【第2部】 青少年による「水」についてのディスカッション



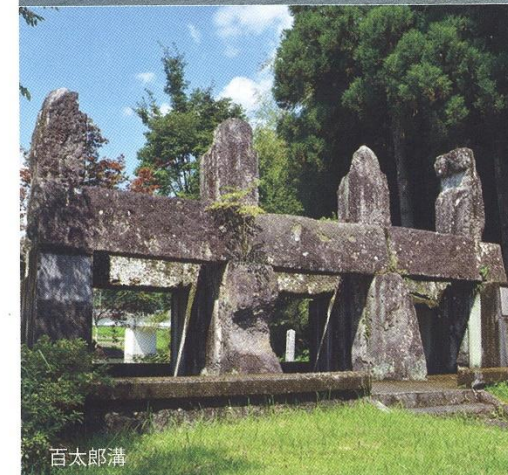
球磨川第一橋梁



旧郡築新地甲号樋門



球磨川河口

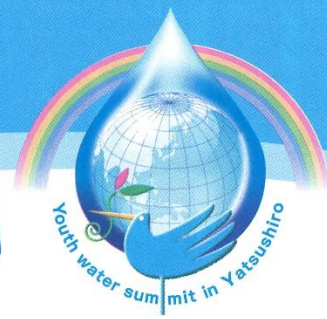


百太郎溝



# The Earth is a Planet of Water

## 青少年水サミット2020 in 八代



オンライン開催!!

### オンライン参加について

参加希望者には、ホストから参加者にメールで、ZoomのURLとIDとパスワードが送られてきますので、URLからZoomをダウンロードして、IDとパスワードを入力して参加となります。  
パソコンの場合は、カメラとマイクが付いているかを確認してください。付いていない場合は、別途カメラとマイクの用意が必要です。

第1部では、4つのグループのいずれかを選んでご参加ください。  
第2部は、合同のディスカッションとなります。  
※不明な場合は事務局までお問い合わせください。  
(事務局:松浦) E-mail:kankyo@eco-yukarin.info TEL080-5253-5081

プログラム 総合司会:内田 圭亮

### 【第1部】専門家によるパネルディスカッション (13:00~13:50)

#### ■水の流れグループ 「ごみ・水質問題」

- ・八代海・球磨川河口敷・球磨川河口のごみの実態、川・海の水質の現状
- ・八代の水利用、地下水の利用、過剰くみ上げの問題(井戸の塩水化)
- ・焼酎粕の廃棄処理を利用した光合成菌の土壌への効果
- ・生活排水からごみ問題まで、人間の生活から地球全体への問題を知る
- ・マイクロプラスチックごみ問題

- ◆中田 晴彦(熊本大学) ◆豊田 啓勤(八代青年会議所会長)
- ◆宮坂 均(崇城大学) ◆(株)Ciamo古賀 碧(崇城大生)
- ◆長谷川 万紗(国土交通省八代河川国道事務所)
- ※藤川 貴史(八代市環境課)当日は資料のみ

#### ■水と生きものグループ 「干潟・水質浄化について」

- ・八代の干潟の実態・干潟のいきものたちの紹介、干潟保全の意義
- ・「生物多様性」の保全のために必要なこと(熊本地域白川の例)
- ・渡り鳥のフライウェイをたどってみよう!  
(ヘラシギ、クロツラヘラサギをささえる干潟や湿地)
- ・ラムサール登録地(荒尾市)活動のメリットなど

- ◆逸見 泰久(熊本大学) ◆金子 好雄(東海大学)
- ◆高野 茂樹(八代野鳥愛好会) ◆竹下 将明(荒尾市環境保全課)
- ※森田 洋(北九州市立大学)当日は資料のみ
- ※松浦 弘(岱志高校理科部)当日は資料のみ



#### ■水防災グループ 「水防災・減災について」

- ・八代の治水・利水の歴史、これまでの河川改修
- ・江戸時代の水道話し 八代の用水路の流れ(遙拝堰~海へ)
- ・生態系を活用した防災・減災(Eco-DRR)
- ・八の字堰(環境と治水の融合)について/グリーンインフラ
- ・水防災教育の取組(水防災授業、マイタイムライン、マイハザードマップ)

- ◆星野 裕司(熊本大学) ◆酒匂 一樹(国土交通省八代河川国道事務所)
- ◆岩坪 要(熊本高専八代キャンパス) ◆山田 勝雅(熊本大学)
- ◆出水 享(長崎大学)

#### ■水の歴史グループ 「八代の土木治水の歴史と日本遺産」

- ・八代の街の変化、風景の変化
- ・藩政時代(約400年前)における球磨川の土木治水の歴史/  
遙拝堰、萩原堤、前川堤、潮塘、はね
- ・国際港湾/徳淵の津、御仮屋、蛇籠港、内港、外港 日本遺産
- ◆川口 芳人(一般財団法人河川情報センター) ◆田中 尚人(熊本大学)
- ◆松永 昭吾(株式会社インフラ・ラボ)
- ※山口 義鐘(宗覚寺)当日は資料のみ ※白石 誠(遥拝神社)当日は資料のみ

### 【第2部】青少年による「水」についてのディスカッション (14:00~15:00)

- 〈ファシリテーター〉 田中 尚人(熊本大学)
- ・4グループ各参加の高校生による感想発表
  - ・質問、意見など含めてディスカッション

【閉会】(15:00)

#### ■水に関わる写真展・ポスター資料展

【展示期日】令和2年11月9日(月)~11月29日(日)  
【展示会場】八代市立図書館 八代市北の丸町2-35

【展示内容】第6回球磨川ごみゼロポスターコンクール入賞作品展  
・青少年水サミット2020 in 八代の各グループ資料パネル展  
・九州川の風景フォトコンテスト写真展  
・土木写真部&八代白百合学園高校写真部の写真展



## (事業実施効果)

- ・「青少年水サミット 2020 in八代」その実行までには会場や企画内容が、二転三転となり、関係者への段取りを伝え認識してもらうことが大変だった。しかし、本番は予想を超える達成感が参加者全員の感想として聞こえ、「大成功だった」と、講師陣からもお褒めの言葉をいただいた。
- ・水に関する「水質」「いきもの」「防災」「歴史」の分野の1つにしか参加できなかった高校生や一般参加者から、「他の分野も参加して、講師の内容も十分に時間をかけて欲しかった」との要望も出るような活動であったことは、高校生の自ら学ぶ意欲が培われることを確信できた。
- ・参加校担当教諭から、「高校生のみならずには大変意義深い経験と、学校では学べない知識を得る機会になった。全てのグループに参加しているんな話をもっともっと聞きたかったとの声が多く、今後もこの成果が生かせる場が次々に生まれてくると最高である。
- ・「講演内容は高校生もですが、意外に大人も知らない人が多いことも今後の課題でもあり、どんどん講演会などを実施しなければ！と感じた。」とあったし、講師の教授らからは、「改めて地域を盛り上げるのは、地域の人たちなんだなあと実感した。今後も継続的な活動を行い、八代を盛り上げるとともに他地域の模範となる活動を期待しています。」とあり、講師の田中准教授が最後に言われたが、「水」というキーワードで水俣の専門的な方々や高校生が、同じ場所で発表できる場所を提供している団体がいるからこそこの企画は素晴らしい」と。会としても企画運営で大変だったが、心から喜べる言葉をいただいた。
- ・今回はコロナ禍での元での苦肉の策初企画だったが、新型コロナが終息しても、このやり方は継続したい。その体験をもとに、2022年4月のアジア太平洋水サミットに高校生チームとして参加予定で進めていく。



本番時は 200 人を超える参加者



↑講師の資料を掲載した小冊子は、教科書としても利用できると、評判がよく、部数が足りなくなった。



↑ 地元紙「熊日日新聞」に掲載された



↑ 九州整備局 河川企画部長 堂菌氏の来賓挨拶

**【活動4】青少年水サミットフォローアップ講演会開催  
(水問題・防災・環境教育のための市民向け講演会)**

**【目的】**

この講演会は、2020.11.7(土)に開催された「青少年水サミット2020 in 八代」にあわせて八代市立図書館にて開催される「八代の水と未来の写真展」の初日、最終日に開催する。場所は、同図書館1回ホールにて開催するものである。



↑ 図書館講演会ポスター

**【企画内容】**

青少年水サミット2020in八代において行われた議論のフォローアップ、及び理解を深めることを目的とし、パネルディスカッションに登壇いただいた専門家に講演、あるいは対談いただいた。図書館会場1階・2階には、講師陣の講演内容のパネルと、「令和2年豪雨災害」の現状パネル・九州川のフォトコンテスト作品展・球磨川ごみゼロポスターコンクール入賞作品・土木写真展など、図書館の空白を埋め尽くし、2週間展示を行った。



青少年水サミット2020 in八代」講師陣のパネル



市内高校生も展示作業のお手伝い

## [活動詳細]

### 第1回目 水環境セミナー～八代の水の恵みと先人たちの功績を知る～

日時：令和2年11月8日（日）13:00～15:30

場所：八代図書館

講師：熊本大学：逸見泰 教授 日本野鳥の会熊本支部長 高野茂樹氏  
：熊本高専：岩坪要教授

参加者：一般市民 有志高校生など約34名

特別対談>球磨川と八代海の水環境といきもの～現在・過去・未来～

熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター 教授 逸見泰久氏

八代野鳥愛好会会長 高野茂樹氏

13:50～14:05 質疑応答

14:05～14:50 <講演>八代の水辺を彩る橋～石橋から近代橋梁まで～

熊本高等専門学校 建築社会デザイン工学科 教授 岩坪要氏



熊本大学逸見教授と野鳥愛好会の高野氏



熊本高専八代 岩坪教授の講演

### 第2回水環境セミナー～八代の防災をデザインする～

日時：令和2年11月29日（日） 13:00～15:00 片付け 16:30 終了

場所：八代図書館

参加者：一般市民 有志高校生など約30名

<講演>八代の災害と治水の歴史～八の字堰を中心として～

講師：国土交通省九州地方整備局 八代河川国道事務所 所長 服部 洋佑氏

<講演>八代の風景と防災をデザインしてみよう

講師：熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター 准教授 星野裕司氏



熊本大学 星野裕司准教授の講演



国土交通八代河川事務所 服部 洋佑氏の講演



服部 洋佑所長と松永氏の討論会



一般質問も多数寄せられた



球磨川の災害写真展



くま川ごみゼロポスターコンクール作品展



「土木写真部写真展」同時開催



国土交通省九州整備局「九州川の風景写真展」

## 【結果】

- ・図書館ピロティでの講演会は一般人に好評で来場者から「初めて聞く内容ばかりで、今後とも図書館講座として毎月でも開催してほしい」と、も講演会の要望も出た。
- ・図書館展示は、令和2年豪雨災害の球磨川流域の様々な水や河川に関するパネルや写真展示に対し、他人事として考えていた一部の市民には、真摯に考える現実であったようだ。

### 〔事業・活動の効果〕

- ・国土交通省八代河川国道事務所から、平成 26 年 3 月に河川協力団体に指定され、河川活動では毎月会合を開催しながら進めているが、今年度は新型コロナウイルスや令和 2 年豪雨災害により、甚大な被害がある球磨川に対して、支援活動も共同で進めてきた。青少年水サミット 2020 in 八代では講演会講師に多数ご登壇いただき、球磨川災害現状や防災についてまた八の字堰の再建の歴史をご講演いただき、高校生や市民にもとても好評で、Win Win の成果となった。次年度は共同での勉強会の計画もできている。
- ・図書館とも検討し、また講師陣の時間や内容を打合せして一般にも地域の水環境や防災について理解をしてもらうよう、次年度の計画に予定している。

●青少年水サミット八代 2020 in 八代 参加高校生のアンケート結果もご覧ください。

様式 1 1

3.川づくり団体部門

[実施箇所位置図]

助成番号	助成事業名	所属・助成事業者氏名		
2020-6111-002	「20周年企画「防災教育モデル校」設立と球磨川かわあそび『八の字堰フェスタ』開催」	次世代のためにがんばる会 代表 松浦 ゆかり		
	実施箇所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八代市球磨川河口（金剛）・八代市宮地コミュニティーセンターと各自</li> <li>・八代市八代図書館</li> </ul>		
助成事業の主な実施箇所	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%);">河川・浜辺のおおそうじ大会には高校生が600人参加した</p> </div> <div style="width: 45%;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;">  <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%);">高校生が122人参加 オンライン開催 青少年水サミット</p> </div> <div style="width: 45%;">  </div> </div>			
	河川基金ロゴ等表示状況写真	遠景	近景	
<p>青少年水サミット 2020 in八代フォローアップ 図書館講演会・講師パネル展</p>  <p>八代図書館入り口やピロティ・二階会場全てにサミット講師の講演内容パネル・球磨川災害現状パネル・九州整備局パネルなどを展示した。</p>				
延べ参加人数	一般	950名	スタッフ・事務局	50名
マスコミの反響	地元紙「熊日日新聞」に掲載・ケーブルテレビで放映された。			